

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年11月16日 (2017.11.16)

【公開番号】特開2017-122090(P2017-122090A)

【公開日】平成29年7月13日 (2017.7.13)

【年通号数】公開・登録公報2017-026

【出願番号】特願2017-12128(P2017-12128)

【国際特許分類】

C 0 7 C 17/25 (2006.01)

C 0 7 C 21/18 (2006.01)

C 0 7 C 17/358 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 17/25

C 0 7 C 21/18

C 0 7 C 17/358

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月6日 (2017.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 1, 1, 1 - トリフルオロ - 3, 3 - ジクロロプロパン (243 f a) を脱塩化水素化して、それによってシス - 1 - クロロ - 3, 3, 3 - トリフルオロプロペン、トランス - 1 - クロロ - 3, 3, 3 - トリフルオロプロペン、及び塩化水素を含む生成物流を生成させ；

(b) 場合によっては、工程 (a) の生成物流から塩化水素を回収し；

(c) シス - 1 - クロロ - 3, 3, 3 - トリフルオロプロペンの少なくとも一部をトランス - 1 - クロロ - 3, 3, 3 - トリフルオロプロペンに異性化し；そして

(d) トランス - 1 - クロロ - 3, 3, 3 - トリフルオロプロペン生成物を分離及び精製する；

ことを含むトランス - 1 - クロロ - 3, 3, 3 - トリフルオロプロペンを製造するための連続統合製造方法。

【請求項 2】

243 f a の脱塩化水素を、ハロゲン化金属酸化物、金属ハロゲン化物、及び担持金属触媒からなる群から選択される触媒を用いて蒸気相中で行う、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

243 f a の脱塩化水素をフッ素化クロミア触媒上で行う、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

243 f a の脱塩化水素を苛性溶液を用いて行う、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

苛性溶液が、KOH、NaOH、Ca(OH)<sub>2</sub>、及びCaOからなる群から選択される塩基の水溶液である、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

苛性溶液の濃度が約 2 重量% ~ 約 100 重量%である、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

苛性溶液の濃度が約 10 重量% ~ 約 80 重量%である、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】

シス - 1 2 3 3 z d の異性化を、ハロゲン化金属酸化物、金属ハロゲン化物、及び担持金属触媒からなる群から選択される触媒を用いて蒸気相中で行う、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

シス - 1 2 3 3 z d の異性化をフッ素化クロミア触媒上で行う、請求項 8 に記載の方法。